

報 館 おなかだ

平成 29 年 5 月 1 日 現在

世帯数	3,056 戸
人口	3,536 人
男子	3,655 人
女子	7,191 人

自然と親しむ講座開催

「財産区有林の「植林体験」「きのこのコマ打ち」

4月29日に自然に親しむ講座として、「植林体験」と「きのこのコマ打ち」が行われました。

岡田地区には財産区があり、森林の管理・整備等を行っています。また、財産区有林内にある松の木を利用し、三九郎の「御神木」として利用し



ています。この森林環境の恵まれた地域で、子ども達に植林を通じて、森林に触れ合う機会を体験してもらおうことを目的に、この活動を20年以上続けているそうです。今年度は新たな試みとして、購入した苗ではなく、20cm程の掘りおこした松を苗としました。

御神木を伐採した跡地の斜面にクワで穴を掘り、根の先端が斜面上側に向くように苗を埋め、根が抜けないように周りの土を踏み固めます。

佐藤財産区議長はじめ、財産区の方々がお手本を見せて下さり、子ども達も膝をつき低姿勢になりながら、一生懸命作業に取り組んでいました。「楽しい」、「去年楽しかったので、今回も参加しました」、「その場で抜いた苗をそのまま植える



たねコマとんとん。しいたけでるといいなあ。

ので、根がしっかりしている」との声が、参加者から聞かれました。

植林後、公民館の前で、この日の為に去年の12月に伐採しておいたくぬぎと榎の木を使って、子ども達がきのこのコマ打ちをしました。

長さ1m位に切断された木が80本用意され、1本につき穴を40カ所程あけ、しいたけの種コマをトンカチで打ち込みます。

はじめはうまく打ち込めなかったお子さんも、次第に上手になっていきました。「もっとやりたいって言ってます」、「7〜8本コマ打ちしました」といった声や、三世代で参加されているご家族もいらっしやいました。

参加者はしいたけ栽培の管理方法の説明を受け、一人一

本の原木を持ち帰りました。

使用したしいたけの種コマは、しいたけ菌が強く、初心者でも安心して栽培に取り組めるそうです。

すべての作業が終了し、終わりの会では、「怪我もなく無事に終わられ良かったです」と、三浦育成会長からお

話しがありました。

育成会の役員達が朝から準備してくれた豚汁と、持参したおにぎりをおいしく食べました。

いろいろな表情を見せてくれた子ども達。自然に触れ合うのっていいですね。
(取材 小林)

新任のあいさつ

○岡田地区地域づくりセンター

主任 矢口 智美



今年度、育休から復帰いたしました。岡田の地域づくりに関わらせて頂く中で、地域の皆様のお知恵をお借りすることが多々あるかと思えます。よろしくお願ひいたします。

○北部保健センター

保健師 武井 侑美香



平成29年度岡田地区の担当保健師になりました。これから様々な地区活動を通して、地区の方々の暮らしや行事等多くのことを学んでいきたいと思っております。身体のこと、心のこと、それ以外のことなどでも気軽に話しかけてください。よろしくお願ひします。

退任のあいさつ

◇里山辺地区

地域づくりセンター

藤原 育未

この度、里山辺地区地域づくりセンターに異動になりました。皆様の優しさと温かい人柄で、とても充実した2年間でした。岡田地区のご健勝

◇南部保健センター

保健師 林 篤喜

とご発展をお祈りいたしております。ありがとうございます。ありがとうございました。

初企画

岡田ほっとニュース

もつと身近に

岡田神社

東区

岡田神社では、5月4日(宵祭)、5日(例大祭)に、浦安の舞が奉納されました。今年より初めての試みとのこと



柄澤悦男総代さんに、お話しを伺いました。今までは地域の皆様、協力企業の皆様のご協力のもとで年間行事等行ってきましたが、神社をもつと身近に感じて大勢の方に足を運んで頂きたいの思いで、準備を進めてきたとのこと。何事も新たにということは、役員さん方の大変なご苦労があったことと推察されます。稚児舞を習う子ども達は、岡田小学校5・6年生の女子の希望者とのこと。練習期間は1ヶ月半位でしたが、信濃雅楽会会員 等々力寿美先生のご指導により、1つ1つの動作を正確に練習しました。スポーツをしている方としていない方でも動きが違うそうです。お話しを聞く程に大変さがわかりました。

「ご自分で舞ってみたいという強い意志が、難しさを乗り越えやりとげようという気持ちに導いてくれるのではないでしようか」との柄澤さんの言葉がとても印象に残りました。

(取材 村越)

新田館編集委員長あいさつ

◆前年度編集委員長 石神 友子 副として2年、長として2年、公民館報編集に携わり、有意義な4年間を過ごすことが出来ました。30年暮らしてきた岡田ですが、地区の組織やイベントの事など何も知らなかった、知ろうとしないなかつたことに気付きました。4年間で24号を発行。取材する中で、知識が深まり、点が線となり、線が面となって、岡田の姿が私の中で徐々に浮かび上がってくるような感覚がありました。地域のために尽力されている方や、「人物登場」の方々を知り、身近にこんなに素晴らしい方がいるのかと

感心したり、驚いたり。初めは不安ばかりでしたが、大久保委員長が導いて下さったこと、館長や主事・各地区の編集委員の方々と、協議して一つのものを創り出すという貴重な時間を共にできたことなど感謝の念で一杯です。

「あく楽しかった！委員長の依頼があったとき、迷ったけれど引き受けてよかった。」と言うのが任を終えた今の正直な感想です。

◆新編集委員長 日比奈美子

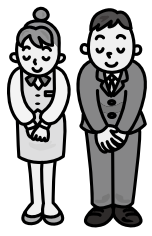
2年前、石神委員長の後任として、副編集委員長になり、早いもので委員長を務める3年目になりました。

最初はわからない事ばかりで、石神委員長はじめ、編集委員の皆様から、会議に参加していただきながら、3か月目に、そろそろと、初めて1面の記事を取材し記事にした時は、とても緊張しました。それ以来、何度か取材し記事を書かせていただく中で、様々な方のお話しをうかがわせていただく機会を得て、とても嬉しく思っております。

微力ではありますが、編集委員の皆様と力を合わせ、地域の皆さまや出来事をお伝えする館報を作って参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

平成29年度 岡田公民館 専門委員の紹介

- 町内公民館長
 - 山浦 浅田 玉二
 - 伊深 前田 尚男
 - 岡田町 中澤 元春
 - 東区 望月 敏成
 - 塩倉 百瀬 朝彦
 - 松岡 伊藤 修
 - 文化委員
 - 山浦 浅田 玉二
 - 伊深 赤羽 淳
 - 岡田町 平林 保
 - 東区 赤羽 篤
 - 塩倉 太田 隆康
 - 神沢 小林 善次
 - 松岡 小島あゆみ
 - 体育委員
 - 山浦 柳原 元気
 - 伊深 横山 敏雪
 - 岡田町 奈良 誠悦
 - 視聴覚委員
 - 山浦 西村 重雄
 - 伊深 前田 尚男
 - 岡田町 乾 清子
 - 東区 齊藤 泰久
 - 編集委員
 - 山浦 宇留賀 智
 - 伊深 松田 隆
 - 岡田町 伊藤 和幸
 - 東区 村越富美子
 - 塩倉 大沢 俊彦
 - 神沢 小林真砂子
 - 松岡 田中貞五郎
 - 館長推薦
 - 館長推薦 日比奈美子
 - 館長推薦
 - 館長推薦 日比奈美子
 - 松岡 中本 晶子
 - 全市版 大久保 誠
 - 図書委員
 - 岡田町 胡桃沢美枝
 - 伊深 横山 史恵
 - 東区 田中 紀子
 - 東区 北岡 房枝
 - 東区 村山 寿子
 - 松岡 中川 信子
 - 運営委員
 - 中学校校長 赤羽 秀俊
 - 小学校校長 大平 亮治
 - 保育園園長 林 千代子
 - 町会連合会長 田口 義彦
 - 財産区議長 佐藤 忠
 - J A支所長 山本 勝宣
 - J A女性部支部長 松澤さみ子
 - 中学校PTA代表 赤羽 智雄
 - 小学校PTA代表 松田 匡弘
 - 民生児童委員協議会長 倉田美智子
 - 子ども会育成会長 三浦 好弘
 - 健康づくり推進員 北條由美乃
 - 児童センター館長 久保 愛
 - 学識経験者 小林 弘明
 - 町内公民館長 5名
 - 専門委員委員長 7名
 - 公民館長 富岡 詔子
 - 館長補佐 塩原 正秀
 - 公民館主事 小林 泰



※◎委員長 ○副委員長